

向山校区「小中一貫教育目標」グランドデザイン

夢をもち、輝き続ける子どもの育成

【基本理念】 学びの連続性と指導の一貫性の確立

1小1中の向山校区の特性を生かし、「9年間（12年間）を通してどのような子どもを育てるのか」を念頭に置き、小・中学校の職員で、すべての子どもを育てる。

小中一貫教育を進めるにあたり、小中学校間の共通認識が必要である。その上に立ち、以下のことを行う。

- 9年間を見通した学習指導
- 発達段階に応じた生活ルールの共通実践
- 総合的な学習の時間や道徳教育、その他全ての教育活動での一貫性の確保
- ねらいを明確にした児童・生徒の交流活動の推進
- 幼小中教職員の積極的な交流と、互いの学校文化の違いへの理解
- 推進体制の確立
- 小学校高学年の一部教科担任制
- 教員の小中学校兼務による乗り入れ授業

小中教職員の相互理解と共通実践

【交流】

人を大切にする心を育てる取組

- ◆交流活動計画
- ◆あいさつ運動
- ◆ボランティア活動
- ◆総合的な学習の時間での地域学習

幼・小・中および地域との交流を持続的・系統的に行い、自己有用感を育てる。

【学習】

学習意欲を高め、確かな学力を育てる取組

- ◆学習スタイルの確立
- ◆家庭学習の定着
- ◆授業改善の工夫

授業や家庭学習の中で系統的な学び方指導を行い、学ぶ意欲を育てる。

【生活】

健やかな心と健康な体づくりをめざす取組

- ◆そろえるシリーズ
- ◆「まもるくん」シリーズ
- ◆道徳の共通テーマ実践
- ◆生活調査の共通実施

道徳教育や生徒指導、健康教育の充実を図り、自律心を育てる。

幼・小学校から中学校へ確かな接続

向山校区「小中一貫型学校」を視野に入れて

向山幼稚園・向山小学校・江南中学校
かかわる力育成プログラム

向山校区園児・児童・生徒
育ちのものさし

熊本市小中連携カリキュラム
【熊本市スタンダード】